





**【B案では想定されている津波が襲来しても保育園児は避難する必要はありません。】**

芳養地区津波避難タワー

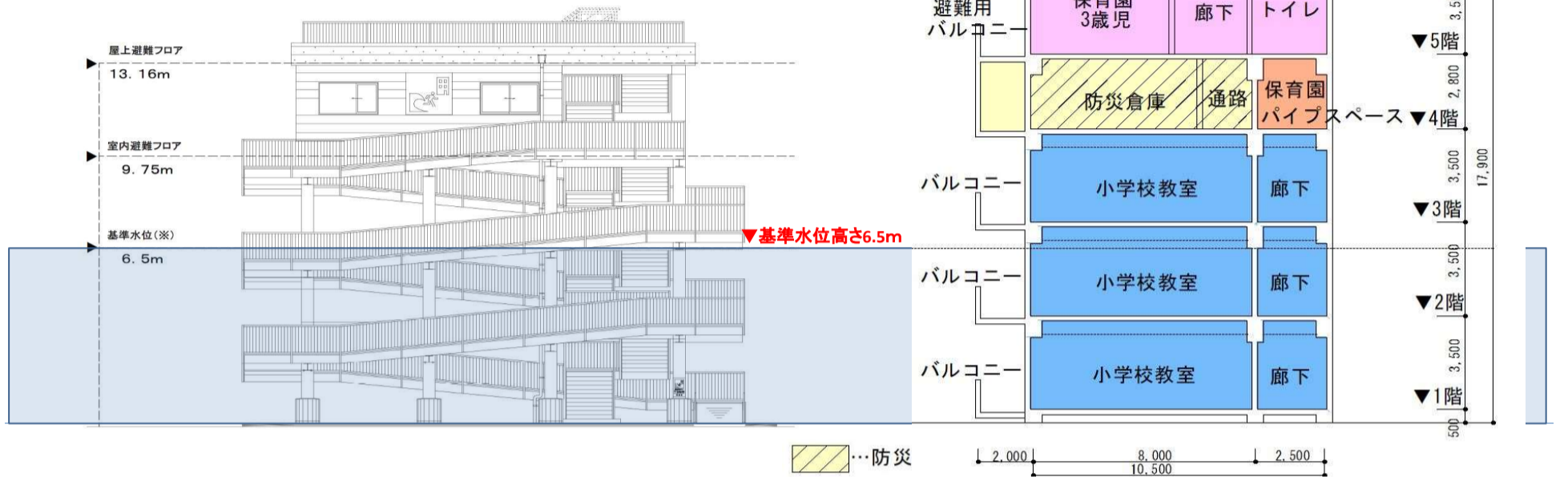
避難タワー概要



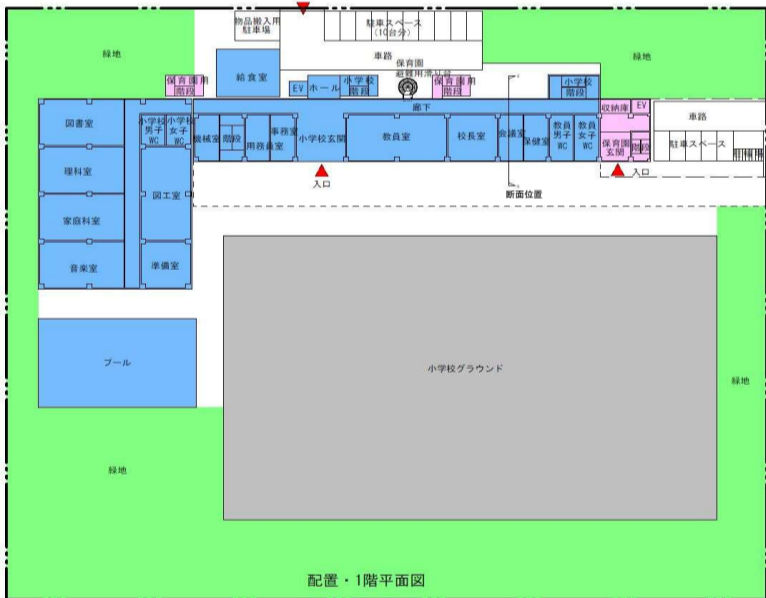
- 施設概要
  - 場所 田辺市芳養松原一丁目4278番地の4
  - 構造 鉄骨造 2階建て
  - 延床面積 135.29㎡
  - 避難スペース 【屋内】54㎡  
【屋外】70㎡
  - タワーの高さ 【最高高さ】14.36m  
【室内避難フロア】9.75m
  - 避難収容人数 約240名（※1㎡2人で換算）
  - 避難昇降 階段及びスロープ
  - 基礎構造 鋼管杭
  - その他の設備 備蓄倉庫  
簡易トイレスペース2箇所  
避難誘導灯  
照明器具やコンセントの電気設備  
太陽光発電設備  
蓄電池 ほか
- 総事業費 203,235千円

園児は避難する必要はありません。

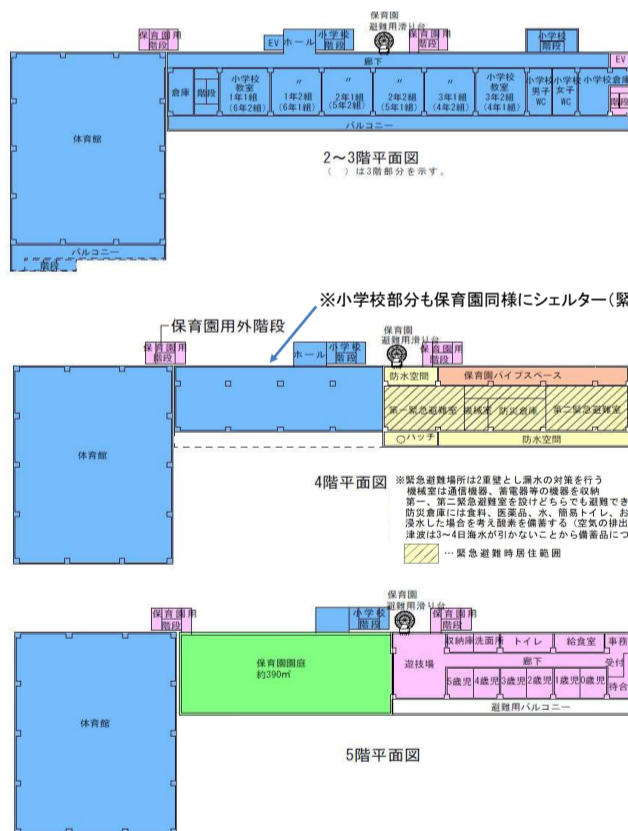
防災倉庫は非常食等を備蓄し、当面(1週間程度)の滞在を可能とします。津波が引いた後、避難タワーから避難した人たちの物資の確保にもなります。



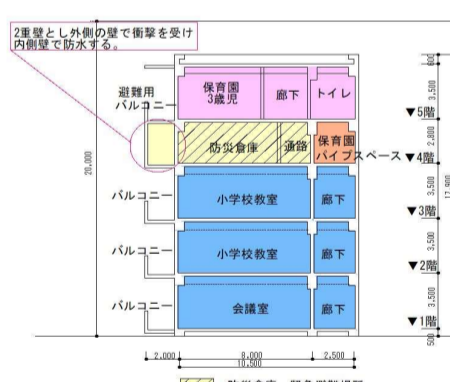
C案イメージ計画図



※C案: 建物を超える津波の時は、津波が襲来している時間は水没します。その際のイメージは潜水艦です。そのため、洪水が入らない構造、避難人数の酸素、蓄電池、緊急無線等の設備を考える必要があります。



地域のハザードマップを基準にあった小学校と保育園を整備することにより、子供達を災害から守れると思います。また、緊急避難場所としての物資を十分に保管することにより、避難者同士協力しながら救助をまてる施設が重要です。



★避難施設以外のメリットは？

- 全ての案に共通メリット【保育園部分を賃貸とした場合】
- ◆ 保育園のメリット
  - ・保育園は迷惑施設とされ、敷地を確保しても近隣住民等の反対により建設できない場合があります。しかしとても重要な施設には変わりありません。
  - ・学校の屋上を使用することにより**スムーズな設置**が可能となります。
  - ・保育園を運営するための建設費が、学校施設を利用することで必要ありません。**もちろん、敷地の確保も必要ありません。**
  - ・園児は、保育園の園庭が広いので、近隣の公園まで遊びに行く必要がありません。交通事故などの危険を回避できます。また、セキュリティ対策も万全です。
  - ・小学校と保育園ではお互いに影響することなく生活ができます。また、必要ときは交流が容易にできます。
- ◆ 小学校のメリット
  - ・保育園施設を民間業者と賃貸契約をすることにより**賃料が発生**します。この賃料を学校の設備や修繕などに使用し施設の維持管理に貢献します。
  - ・保育園施設の床が二重床となっているため、保育園施設から他の施設に**変更が容易**にできます。
- ◆ お母さんにもメリットがあります。
  - ・小学校の給食を利用して貰うため、お弁当が必要ありません。
  - ・家事の軽減は、働くお母さんにとって重要な問題です。



★最後に

◆最後に  
今、学校は建て替え時期になっています。この時期を有効に活用し整備することが、コストの削減にもつながります。災害時の避難施設である小学校と保育園を整備するだけではなく、他に多くのメリットはたくさんあります。

地域により災害による被害の違いがあります。**それぞれの地域に合った方法で計画案を変え対応する事が可能です。**

また、施設を普段から使用することで災害が起きた時にスムーズな避難が可能となります。

子ども達を守ることは、その親達も守ることになります。東日本大震災の時、親は子どもを心配し、学校に迎えにいく途中で被害にあった人の事を聞きました。子ども達の安全がわかれば、親は自分の安全を考えることが出来ます。災害時の事を考え、それぞれが連携し日頃から備えておけば、被害は最小限にとどめる事が出来ると考えています。